



さんびょう
三錨

四日市市立富洲原小学校

学校だより NO.5

令和4年5月6日

●遠足に行ってきました。

5月2日(月)、五月晴れの快晴のもと、全校で遠足に行ってきました。コロナに関する感染状況について、他校から「学級閉鎖になった…」「感染者が増えている…」「遠足が延期になった…」等の連絡が入ってきていたので、“無事に行けるのかなあ…”と心配していましたが、しっかりと感染対策をとって行くことができました。家庭の都合で残念ながら欠席の子もいましたが、参加した子どもたちにとっては、楽しい1日になりました。

今回は、「きょうだい学年※」を利用して歩いていきました。歩くなかで、低学年に「大丈夫?」「えらくない?」と優しく声をかける上級生の様子がたくさん見られました。さらに、道路を渡るときも「危ないよ。急いで渡ってね。」と気遣う姿も見られました。さすが『富洲原の子!!』とうれしくなりました。1.6年は、霞ヶ浦にある「霞★ゆめくじら公園」へ、2.4年は川越町にある「川越緑地公園」へ、3.5年は「シドニー公園」へ行きました。それぞれの場所でもきょうだい学年で一緒に過ごしました。

保護者のみなさまには、早朝よりお弁当づくり、お世話になりました。「全部食べたよ。」「わたしの好きな卵焼きだよ。」と見せてくれる子もいました。

コロナ禍ではありますが、さまざまな学校活動について、制限はありますが、可能な限り、「コロナだからできない」ではなく、「感染対策をとったうえで行っていく」という方向で考えています。今後ともご支援・ご協力、よろしくお願ひします。

※きょうだい学年…異学年との交流をねらいとしています。さらに高学年には下級生とともに過ごすことで高学年としての自覚を高めています。



●5年、6年の算数習熟度別学習を始めます。

高学年になると、子どもたちの学習状況によって「差」が生じています。興味関心の差であったり、今までの学習の定着度合いの差であったり、問題を解くスピードの差であったり…と、多岐に渡って「差」が生じています。これは、決して富洲原小学校に限ったことではなく、どこの学校でも同じようなことが生じています。そこで、今年度から5年、6年の算数を、学年の2学級(1組2組)を習熟度別に4つのクラスに分けて学習をしています。クラスによっては人数のばらつきもあります。とにかく、個々の状況に合わせて学習できるようにしています。子どもたちからも「スピードがゆっくりになったからわかりやすくなった」「わたしのクラスはどんどん問題を解いていくクラスだから楽しい。」などの感想がありました。

宿題(家庭学習)についても同様です。本来ならば、一斉の課題ではなく、個々の状況に合わせて取り組んでいくことが家庭学習です。学級によっては、必要な子どもたちには、家庭学習の内容をその子にあわせた内容に変えています。“宿題わかっているのかなあ…”“ドリルの答えを写すだけになってないかな…”など、心配なご家庭につきましては、ぜひ一度、担任に相談ください。

●来週から「家庭訪問」「懇談」が始まります。

お子さんが通う通学路や保護者のみなさんの思いを知るため、そして、学校と保護者のみなさんとで大切なお子さんのことについて話をする機会として設定してある家庭訪問です。貴重な時間とさせていただきたいと考えていますが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のために「家庭訪問」「懇談」については以下のとおりとさせていただきます。

- ◆ 家庭訪問、懇談会、どちらも短時間(10分程度)とさせていただきます。それ以上、お話しされたい場合は、担任までお知らせください。
- ◆ 家庭訪問につきましては、玄関先、もしくは玄関前にて失礼します。感染防止のため、家の中へは上がらせてはいただけませんので、ご了承ください。
- ◆ 感染状況等により、「家庭訪問」だった予定を「懇談」に変更したい、「延期」を希望した場合は担任までお知らせください。
- ◆ 「懇談」につきましては、各教室でパーテーションを置いて実施させていただきます。